## 終戦76周年企画ドキュメンタリー作品上映会





2021年

# 15日(日)

場:11時20分

黙 と う:12時00分~

上映開始: 12 時 05 分

(上映時間 106 分)

第二次世界大戦終戦 76 周年を記念して、歴史の 表舞台にはあまり登らない、戦地残留を選んだ 日本の「未帰還兵」たちの人生のドキュメンタリー 作品を上映いたします。

また、当日が終戦記念日であることから、 戦没者への追悼の意を込めて、正午から 1分間の黙とうを行います。

## 30人(指定席)

- ※未就学児はご遠慮ください。
- ※一部ソファ席があります。
- ※コロナ禍の影響により定員数が 24人となる可能性があります。

# 香用

## 無料 (要予約)

※ 未就学児はご遠慮ください。

- 7月6日(火)から

申込みには、氏名、連絡先が 必須となります。

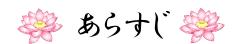
## お申込み・お問合せ 大東市立生涯学習センターアクロ

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR 住道駅南側高層マンション内

TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405 E-mail: info@daito-across.jp

HP:「大東 アクロス」で検索 開館時間:午前9時~午後10時 休館日:第2木曜日

お願い:文化情報センターには専用の駐輪スペースがございません。ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。



太平洋戦争中、約19万の日本の将兵が、その命を失ったビルマー。

本作は、タイ・ビルマ国境付近で敗戦を迎えた後、祖国に還らなかった6名の日本兵、すなわち「未帰還兵」を描く。敗戦から60余年を隔て、戦争の記憶が薄れつつあるいま、90歳を前後する彼らを20代の監督・松林要樹がとらえた。2005年から3年に渡る取材で、松林はもうひとつの戦後史ともいうべき彼らの暮らしに寄り添い、新たな証言を記録した。それは、ある未帰還兵の現代日本への遺言となった。製作中、2名が鬼籍に入ったからだ。なぜ彼らは日本に還らなかったのか?南国の激しい雨の間隙、晴れやかな日差しの中で、穏やかに老後を迎える元兵士たちの平和な日常に、漆黒の時代の闇が潜んでいる。







(c)2009 Yojyu Matsubayashi

### ご来場のお客様へ、お願いとご案内

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、以下にご協力ください。

- 1. 会場入場時に手指のアルコール消毒を行ってください。
- 2. マスクを必ず着用して、ご参加ください。
- 3. 当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。 また、当日会場入り口にて検温をさせていただきます。
- 4. 開場中、上映時も客席のドアをすべて開放し、換気を行います。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大状況によりましては、本上映会を中止または延期させていただく場合がございますので、ご了承くださいませ。

# 会場ご案内図





